

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 山本 眞 輔  
 幹事 吉田 玄  
 会報委員長 池 森 由 幸

No. 40

### 率先しよう

### LEAD THE WAY

2006～2007年度 RI会長 ウィリアム(ビル)B.ボイド

#### きょうの例会

第1183回 平成19年6月5日(火)  
 “輸入貿易と為替” 会員 川浦 忠君  
 “競走馬用の輸入飼料について” 会員 村瀬和彦君

#### 先週の記録

第1182回 平成19年5月29日(火) 曇

- ◆“我等の生業”
- ◆ビジター紹介 1名
- ◆出席報告
 

会員	59 (57) 名	出席	41名
出席率	71.93 %		
前々回	5月15日 (修正出席率)	94.74 %	
- ◆6月会員誕生日
 

浅井 誠寿 君(6/1)	澤田 淳治 君(6/4)
藤田千津子さん(6/6)	小杉 啓彰 君(6/11)

#### 水谷副幹事報告

- 1) 次回例会終了後、今年度・次年度の合同理事役員会を開催致しますので担当者はお残り下さい。
- 2) 5月26日(土) 桜花学園高等学校インターアクトクラブの活動の一環「恋の三社めぐり」を開催し、当日160名ほどの参加で終了、その模様は5月30日(水) 中京テレビのリアルタイムで放送されますので是非ご覧下さい。

#### 山本会長挨拶

大相撲夏場所は大関白鵬の全勝優勝で幕を閉じました。新横綱誕生ということで来場所は22場所ぶりに東西の横綱が揃うとマスコミはヒートアップしているようです。私は「天下の大関よりも俺が村の三段目」というタイプの相撲好きなのでそれほどテンションは高くありません。琴光喜の活躍を期待しています。

本日のビジターは東RC、水野茂生君です。ようこそお越しくださいました、どうぞ時間のゆるすかぎりゆっくりとお過ごし下さい。

さて今日は5月の最終例会です。会長の任期もあと一ヶ月、皆さんのおかげで何とか続けることが出来ま

した。ありがとうございました。次年度は創立25周年の記念行事も予定されており、会長エレクトを中心に着々とその準備も進んでいるようで大変嬉しく思っております。私は平成元年入会ですから19年間の在籍になります。まだまだこれからもロータリアンとしてがんばっていくつもりでおりますのでどうぞよろしくお願い致します。

2760地区で私の職業である彫刻家が会長になったのは初めてだと聞いておりますが彫刻文化の啓蒙には良いことと思っています。その活動の中に全国各地に講演とか作品制作の指導にでかけたりすることがあります。彫刻だけでなく芸術全般についても話をしております。なぜ芸術の道を選んだのか、どんな勉強があるか、絵描きになりたいがどう勉強すればよいか、などなど、たくさんの質問もいただきます。なかには絵や彫刻が好きなので画商を始めたいがなどという方もあります。しかし一番多いのは美術が好きではあるけれどもよく理解できない、もうすこし深く解るにはどうすればよいかという質問です。絵画、彫刻、陶器、漆、織、染め、書、などの展覧会にはいつもでかけるが、いまひとつものたりない、楽しい鑑賞のしかたがあれば示して欲しいということです。これに対してはいつも「私の一点」ということを申し上げております。何百点もある展覧会の作品は観るだけでもたいへんです。世の中にはたくさんの作品があります。その中から、もし貰えとしたらどれにするか？自分の部屋に置いて毎日眺めるとしたらどの作品がいいか？ということに基づいて「私の一点」を決めて下さい。それがあなたの芸術理解の入り口です。難しい理屈はいりません。世間の評価は二の次です。「私の一点」は絵画や彫刻だけでなく仏像であっても寺院であってもいいわけです。今日は「私の一点」を紹介します。

アメデオ・モディリアーニの「赤毛の若い娘」です。サイズは46×29cmの油彩画です。この作品は日本にはありません。かれ何歳くらいの時の作品か？今何処に行ったら本物を目にすることが出来るのか？買えるのか？などと思ったらあなたはもう素晴らしい鑑賞者、理解者です。他のものには目もくれず作品を楽しみましょう。



本日は「私の一点」を申し上げ挨拶とします。

●●●●●●●●●● 友 愛 の 日 ●●●●●●●●●●

桜花学園高等学校インターアクトクラブ活動

恋の三社めぐり 5月26日(土)



ロータリーワールドより

イラクに平和の風運ぶ日本人女性

岸谷美穂さんがNPO法人ピースウィンズ・ジャパンを通じて初めてイラクに渡ったのは、25歳の時でした。日本人である岸谷さんは、3年間のイラク滞在で、平和の構築に直接関与することがいかに大切であるかを実感しました。

「紛争の存在しないニューヨークや東京にいて平和について語るの簡単です」と、元ロータリー世界平和フェローの岸谷さんは述べます。しかレ平和を真に実現するためには、世界の指導者たちと非政府組織(NGO)に携わる人々が、「平和が失われたために必死に生き残ろうともがく人々のいる場所」に実際に足を運ばなければならないと、岸谷さんは信じています。

2000年から2003年にかけて、イラク北部のクルド人自治区でただ1人の日本人常勤スタッフとして勤務した岸谷さんは、ピースウィンズ・ジャパン・イラク事業の現地代表として、救援活動の調整と実施に当たりました。

その貢献が世界平和研究所から称えられ、中曽根康弘賞を受賞するにいたりました。本賞は、政治、

経済、文化、科学技術の分野における意義ある功績を称えると同時に、紛争地域に平和と繁栄をもたらすことを目的としています。

賞の名称は現在財団法人世界平和研究所会長を務める中曽根元総理大臣にちなんで付けられたものですが、6月の授賞式には元首相自らが、副賞の100万円とともに本賞を手渡しました。同研究所では、岸谷さんの受賞が人道的活動分野に携わるほかのNGOの若い職員たちの励みになればと願っています。

岸谷さんは、2005年に英国のブラッドフォード大学で紛争解決分野の修士号を取得しましたが、これは、埼玉県浦和ロータリー・クラブの支援により授与されたロータリー世界平和フェローシップを通じて達成できたものです。

同年、ピースウィンズ・ジャパンの日本代表としてイラクへ戻ることになり、現在は、教育、福祉、保健、水、衛生問題に主眼を置いた復興プログラムの管理と調整を行っています。

「プログラムの成果を最大限にするためにはイラクの政治地図を読み解く必要がありますが、紛争に関する知識が、今役立っています」

(訳者注：引用はすべて英語からの翻訳)

ニコボックス

名古屋東RC 水野 茂生君  
古い話ですみません！合歡の木をありがとうございました  
宮尾 紘司  
田植えが無事終わりました  
山本 眞輔  
初夏です 衣替えの季節となりました あと1ヶ月です よろしくお願いたします 明日30日夕方5時CBCのイッポウで紹介してくれるとかで先日取材がありました 時間があつたらご覧下さい

油田 弘 佑  
萩原 喜 代子  
伊藤 健 文  
伊豫田 博 明  
川 浦 忠 忠  
紺 矢 寛 朗  
久野 峯 一  
柵 木 充 明  
三 好 親  
西川 豊 長  
鈴木 正 男  
竹内 眞 三

足立 一 郎  
服部 正 夫  
伊藤 三 津子  
加藤 重 雄  
小林 明  
小山 雅 弘  
黒須 アイ子  
松 居 敬 二  
水 谷 祥 督  
佐野 寛  
鈴木 理 之  
谷 口 優

舎人 経昭 和田 正敏  
山本 英次 吉田 節美  
今年度残すところあと3回となりました  
浅井 誠寿  
会員誕生日祝い  
岡田 雅俊  
夫人誕生日祝い  
牧野登志子  
結婚記念日祝い

合計 51,500円

次回例会 平成19年6月12日(火)

友 愛 の 日